

第 272 回(9 月)

情報システムをどのようにアドバンスさせるか

アマノ株式会社 生産管理部長 北村弘之氏

これまでの情報システム上の問題は①システム開発の長期化②帳票出力の無駄③エネルギー浪費④新情報技術取得の困難さなどであった。これからの情報システムの問題は、業務系をルーチン業務に特化した純業務系と、戦略に特化した情報系の 2 つに分け、前者はデータ中心、後者は D/B 中心に分離することである。

このためのシステム作りの要点は①実施目標を足下ではなく 2〜3 年先を見て決めること②利用部門長を計画の段階から参加させることである。具体的作業を行うシステム部門では①外部スタッフを上手に使う②予算超過を覚悟する③目標課題に具体性を持たせる④推進部と事務局の間がうまく行く⑤通信回線回りの保守・点検・維持をしっかりとさせることにある。全社的には①経営トップの情報化への意思を確立する。特に社長の意思決定が重要②情報リテラシーを強化し、利用部門の力を引き上げておくことにある。

以上がうまく行けば、情報のスピード化や経営革新への利用、ツールとしての利用などに貢献する。これを次にアドバンスさせるための更新のタイミングは、何か新しいことをやる時に一緒に更新するのがよい。システムの更新は、業務遂行過程の更新と二人三脚となり、評価基準の見直しも伴うことを覚悟すべきである。まず第 1 歩を踏み出すことをお勧めする。